

家族会会報

2025年1月号

発行 玉名きぼうの会 (玉名地域精神障害者家族会)
玉名市・南関町・和水町精神障害者家族会
城ヶ崎病院家族会・玉名病院家族会
事務局 NPO 法人玉名きぼうの家
玉名市繁根木 117-3 Tel0968-74-0890

この会報は各家族会に会員登録された方、賛助会員・玉名地域家族会研修会に参加された方などにお送りしています。

できごと

ふれあいピック 11月23日(金)

今年は玉名地域3事業所まとめてオンライン参加に

コロナ禍以来 オンラインでの開催が続いていましたが、今年のオンラインは、県きぼう福祉センターと宇城・玉名地域・上益城地域の3か所では一会場にまとめて参加する形となりました。県内25か所500人を超える参加とか。種目にもバレーボールでのボール送りや・ラリーが加わっています。

次回は、従来どおり全県が一か所にまとめて開催できるかもしれませんね。

玉名きぼうの家からも

家族会ときぼうの家利用者7名が参加、城ヶ崎病院の多目的ホールで、城ヶ崎病院デイケア、ふれあいとの合同参加となりました。・昨年に続き、缶積み競争、恒例のサバイバルゲーム(〇×ゲーム)と新種目の、玉送り・ラリーそしてフォークダンスを楽しみました。



各会場のオンライン画面

県連一泊研修会 12月6日(金)~7日(土)

県連主催の家族会研修会、今年は阿蘇市で開催されました。玉名地域からは5名が参加。みんなねっとの全国大会の映像を視聴、北海道でのベテルの家の取り組みや、全国家族会の状況・活動課題に学びました。翌日は「阿蘇きぼうの家」を訪問。



元保育園だった市の施設を使用して、阿蘇地域家族会の支援のもと就労継続支援B型事業所を運用され、地域での農業支援や剪定の補助、ハム用ネットづくりなど多様な仕事から、独自商品(ポン菓子)の生産販売まで、障がい者の仕事づくりに旺盛に取り組まれています。玉名でのこれからの活動に大いに参考となる研修でした。

阿蘇きぼうの家を見学

家族による家族学習会



【家族による家族学習会】は11月18日に第3回、12月16日に第4回を開きました。

第3回目は「統合失調症の治療と支援」第4回目は「住みたい町で暮らし続けるために」がテーマです。担当者（これまでに研修会を受けたことのある家族）、と参加者（初めて参加された家族）がテキストをもとに学び、本人の状況や病気に対する家族の接し方など現状や経験を率直に語り合うことで互いの認識を深めていきました。1月18日（土）に最終回を開催予定です。

次年度以降も定期的開催を予定、また、玉名以外の地域やネットでの開催も計画されていますので、今後参加を希望される方はお知らせください。

新年のごあいさつ

玉名地域精神障害者家族会 会長 飯塚幸二

あけましておめでとうございます。謹んで会員のみなさんに新春のお慶びを申し上げます。昨年は家族会の活動再開がすすみ、県・九州・全国などほとんどの大会・研修会がオンラインを併用しながらも実開催される形となりました。ただ、コロナ禍の間の活動停滞などの影響もあって、各地の家族会では活動停止など厳しい状況もつづいています。障がい者に関する諸制度面では、障がい者への合理的配慮の義務付け、JRグループの割引開始発表、優生保護法被害者の勝訴など前進がみられる年となりました。

昨年4月より運営が移転した玉名きぼうの活動もみなさんの協力で軌道にのってきています。また、昨年から再開した「家族による家族学習会」も新たな参加者を迎え、継続開催されています。みなさんの多大なるご支援のおかげで、無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

世界に目を向けると、まだまだ戦争の脅威が続いていますし、派生する経済の不安定からくる物価上昇など、私たちのこれからの生活への不安要素も残っています。反面、被爆者団体にノーベル賞が授与されるように、平和と社会の平穏を求める動きもまた健在です。

皆様方にとりましても本年が素晴らしい年となりますよう心から祈り、新年のご挨拶とさせていただきます。

玉名きぼうの家だより④

・玉名きぼうの家が移転し、家族会主体の共同運営に再移行し2年が経過します。新しい利用者やスタッフも増え。活動メニューも広がっています。ただ、受託している運営費用も限られていますので、家族会の皆さんのより一層のご支援をお願いします。

玉名きぼうの家の
掲示板ですー



ntki.org/tki/b

○利用者・ボランティア募集中。

- ・本人・家族のご利用をおまちしています。
- ・相談員として働ける方・ボランティアも募集中です。趣味・特技を生かしてみませんか。

○活動時間を広げました。

- ・移行当初は主に午前中と夕方の開所で案内してきましたが、利用者の利用もあり、スタッフ交代で午後の時間帯も開所することになりました。

開所時間 午前10:00~18:00まで(木曜:日曜は休み)

○追加活動メニュー紹介



- ・健康マーじゃん：囲碁・将棋・オセロに加えて、麻雀が登場。難しいルールは省略して、とにかく牌をそろえるところから始めています。
- ・絵画(水曜日午後)
新聞広告のカラーページを利用した「ちぎり絵」を創作しています。材料は紙と、新聞紙とのりだけ、一度お試し下さい。
- ・「サダディズ」近くの公民館の音楽祭に初出演!!
歌と・楽器(ウクレレ・ギター・笛など)で構成した、玉名きぼうの家のバンドが活動始めました・・・

「きぼう」第46号 への寄稿を募集します

今年も、家族会の会誌「きぼう」第46号を発行します。家族のみなさんに知ってもらいたいこと・見てもらいたいこと、詩、短歌、俳句、近況報告や絵、写真など、印刷できるものであればなんでも結構です。たくさんお寄せ下さい。

発行予定 2025年3月 寄稿締め切り 2月末

(手書きの文書の場合は、早めの提出をお願いします)

宛先：玉名市繁根木117-3 玉名きぼうの会 宛て

FaX：0968-74-0890 メール：tkk@ntki.org

これからの予定

家族会 新年懇談会のご案内

日時 1月17日(金) 12:30~15:00

会場 玉名きぼうの家 で開催します。

- ・玉名地域家族会会員と、玉名きぼうの家利用者の合同での開催です。
- ・昼食を準備します。会費 1,000円程度の分担おねがいします。
- ・参加希望の方は、事前に(1月13日ごろまで)にお知らせください。

※参加者数によっては、時間等の調整がありますのであらかじめご了承ください。

玉名地域家族会研修会

こころの病を抱える人・家族の公開学習研修会を開催します

日時 3月15日(土) 14:00~

会場 玉名市民会館会議棟 第2会議室

【演題】

作業療法士が教える 街でイキイキと暮らすヒント

～障がいがあっても、何歳になっても、やりたいことが出来る暮らし～

近年、精神障害は国内はじめ世界的にも増加傾向にあり、暮らしの中で身近な病気であるにも関わらずまだまだ啓発が進んでないのが現状です。今回の研修会では、精神障がい者、高齢者を対象に精神科リハビリテーション、地域生活に携わってきたベテランの作業療法士をお招きし、地域で生き生きと過ごすためのヒントをお話いただきます。



【講師】 岡崎 史裕 (おかざき ふみひろ) さん

作業療法士(元 城ヶ崎病院勤務) 菊池市在住

障がい者の就業支援、障がい者や高齢者のリハビリテーションに従事

まちづくり団体「きくち未来編集部」代表

【主な内容】

精神障害者・高齢者へのリハビリテーションの視点

街で「イキイキ」過ごすための日常の工夫

障がいや加齢に伴う困りごとへの具体的な対策例

【こんな方におすすめ】

障がいのある家族を支えるご家族・介護者

高齢のご両親をサポートしている方

地域で安心して暮らすためのヒントを得た

障がいがあっても、何歳になっても、人が豊かに暮らすための「街でイキイキと暮らすコツ」

を是非一緒に学びましょう！ 誘い合ってご参加ください。

[案内ページ](#)⇒

【参加】 **参加費無料** どなたでも参加できます。後日録画の配信も行います。

参加・視聴希望の方は、玉名きぼうの会(0968-74-0890)までお知らせください。

